

2026 年 9 月 30 日

相鉄グループが保有・開発するアセットを対象とした 第 1 号不動産私募ファンドを組成

アセットマネジメント事業を通じて、まちづくりと地域社会の発展に貢献

相鉄不動産投資顧問株式会社

相鉄グループの相鉄不動産投資顧問(株) (本社・東京都中央区、社長・根本 貴弘) は、2026 年 9 月 30 日 (水)、不動産ファンド事業の第 1 号として、相鉄グループが保有・開発する 2 物件を対象とする不動産私募ファンド (以下、本ファンド) を組成しました。

本ファンドの対象アセットは、いずれも相鉄グループのまちづくりに深く関わるものです。相鉄グループでは、2010 年度に策定したグループビジョン “Vision100” において「沿線開発 6 大プロジェクト」を掲げ、沿線の再開発を推進しました。同プロジェクトでは、魅力ある沿線の創造を目的に、ゆめが丘駅前の大規模複合商業施設「ゆめが丘ソラトス」の開発など、相鉄いずみ野線沿線の価値向上に注力。今回の対象アセットの一つである相鉄いずみ野駅北口ビル (相鉄ライフいずみ野) は、その一環として開発したものであり、相鉄いずみ野線いずみ野駅前で相鉄グループが運営する地域密着型の商業施設です。

また、もう一つの対象アセットである「相鉄フレッサイン鎌倉大船駅笠間口 (底地)」は、相鉄グループの中核事業の一つである宿泊特化型ホテル事業における主要ブランド「相鉄フレッサイン」の第 1 号店舗であり、同ブランドを象徴する「創業の地」に当たるものです。

相鉄不動産投資顧問では、相鉄グループが開発・運営の対象とする商業施設、ホテル、住宅、オフィス、物流施設や、その他アセットを含め、多岐にわたるアセットタイプを対象にするとともに、マーケットに流通する不動産のファンド化にも積極的に取り組みます。また、不動産・金融分野の各プレイヤーや地域社会など、相鉄不動産投資顧問や相鉄グループを取り巻くステークホルダーとの協業・連携など、柔軟な取り組みにより、幅広い事業展開を目指すとともに、さまざまな価値の創出に取り組みます。

今後も、相鉄線沿線を事業基盤とする相鉄グループのアセットマネジメント会社として、不動産ファンドの組成、アセットマネジメントを通じた資金調達の多様化や不動産価値の向上を通じて、まちづくりと地域社会の発展に貢献してまいります。

概要は別紙のとおりです。



(左)「相鉄いずみ野駅北口ビル (相鉄ライフいずみ野)」※イベント開催時の様子



(右)「相鉄フレッサイン鎌倉大船駅笠間口 (底地)」

第1号不動産私募ファンドの概要

1. 組成日
2026年9月30日（水）
2. 取得資産
相鉄いずみ野駅北口ビル（相鉄ライフいずみ野）・相鉄フレッサイン鎌倉大船駅笠間口（底地）
※底地：借地権（建物所有を目的として土地を借りる権利）が設定されている土地。
3. 取得先
株式会社相鉄アーバンクリエイツ
4. 資産規模
非開示
5. 貸付人
株式会社横浜銀行、株式会社関西みらい銀行
6. 出資者
株式会社相鉄アーバンクリエイツ、東神開発株式会社、株式会社横浜銀行、りそなリース株式会社
7. 当社の関与
投資助言・代理

相鉄不動産投資顧問の概要

1. 会社名
相鉄不動産投資顧問株式会社
2. 所在地
東京都中央区京橋2-5-18 京橋創生館10階
3. 代表者
根本 貴弘
4. 事業内容
不動産ファンド事業およびこれらに付帯・関連する事業
5. 資本金
1億円 ※株式会社相鉄アーバンクリエイツ100%出資
6. 登録・免許
金融商品取引業 関東財務局長（金商）第3475号（投資助言・代理業）
7. 加入団体
一般社団法人 資産運用業協会／一般社団法人 不動産証券化協会（準会員）

沿線開発6大プロジェクトについて

相鉄グループでは、「選ばれる沿線」の実現のため、2010年度に策定したグループビジョン“Vision100”において、相鉄線沿線の6拠点で再開発事業・土地区画整理事業などに取り組み、2024年には横浜駅きた西口鶴屋地区にホテル、サービスアパートメント、共同住宅などからなる複合施設「THE YOKOHAMA FRONT」を開業するなど、沿線各地でプロジェクトを推進してきました。



相鉄グループの GREEN×EXPO 2027 Village 出展について

相鉄グループは、2027年3月19日(金)から開催される「2027年国際園芸博覧会 (GREEN×EXPO 2027)」の Kids Village (キッズビレッジ) にて、「SOTETSU PARK (そうてつぱーく)」を出展します。

SOTETSU PARK のコンセプトは「ともだちとすみか」。「ともだち」は、ひとをはじめ身近に暮らす生きもの、「すみか」は、生きものそれぞれに適した住処を指し、生物と自然が影響を及ぼし合いながらも調和して暮らすフィールドを表します。子どもたちが「ともだち」に出会い、「すみか」で遊びながら触れていくことで、身近な生きものや自然を知り、守るアクションにつなげていくことを目指します。

